



平成27年10月23日
福島県立塙工業高等学校
厚生部保健係



について考えよう



目を見てコミュニケーション

なぜ、人間の目は2つあるのか。その理由として「距離感や立体感を得るため」、そして「コミュニケーションを図るため」とする説があげられています。人類の祖先がどのように進化し、生きてきたかを考えても、こうした役割がいかに重要かがわかりますね。

昔から『目は心の窓』などと言われるように、目はその人の心のありさまを映し出します。相手の目に表れる意思、心の内をしっかりとらえるために、自分も目を使って見つめ、情報をキャッチします。私たちが持っているコミュニケーションの手段のなかでも、重要なもののひとつと言えるでしょう。

あいさつや返事をしていたとしても、相手の目を見ないで行うやり取りは、役割を十分に果たしていると言えるでしょうか？私たちが目を大切にする理由は何か・・・そんなことも考えてほしいと思います。

あなたの心を映し出す…



いつもキラキラ輝いていたいですね

コミュニケーションを広げる

カラーユニバーサルデザイン

「カラーユニバーサルデザイン」とは、色覚異常などによって色の見え方が異なる人にも情報がしっかり伝わるよう、色づかいや表示に配慮したデザインのことです。男女で平均40人に1人くらいの割合で、色の見え方に特性をもつ人がいると言われていています。相手に伝わりやすいようにすることは、どんなコミュニケーションにおいても基本です。また、色の見え方が異なる人に配慮することで、そうでない人にとっても、よりわかりやすいデザインにつながっていくと考えられます。

具体的には…

- 明るさ、組み合わせなども含め、見分けやすい色づかいで表す
- 文字を添えたり形を変えるなど、色なしでも理解できるように表す



みんながわかりやすい、使いやすいと実感できるものを増やして、暮らしやすい社会に。日々の生活の中で、1人ひとりが意識していきたいものです。

色の見え方で不便さを感じることはありませんか？

たとえば、黒板の文字の色（赤や青など）が見えにくいなど。

不便さを感じたときは
保健室へ



10月14日 保護者・教職員対象の

CAPおとなワークショップ を行いました。

お忙しい中ご参加くださいました保護者の方、本当にありがとうございました。



CAPとは

Child Assault Prevention
子どもへの 暴力 防止

★子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といったさまざまな暴力から自分を守るための人権教育プログラムです。

全ての子どもたちに安心・自信・自由を！

【あいづCAP おとなワーク資料より】

おとなにできること

日常的に子どもの気持ちや意見を大切にすることが必要です。

おとなにできることは、その表現を促し、認め、受け止めて聴くことです。

さらに、いじめや虐待を受けている子どもたちは、恐怖心、無力感、自己否定など共通する独特の心理パターンをもっています。対人関係に攻撃的であったり、いらついていたりします。あるいは、ぼんやりしていたり、孤立していることがあります。そんな子どもにとって、自分の話を聴いてくれるおとな、自分の話を信じてくれるおとな、どうしたらいいかを一緒に考えてくれるおとなの存在は、とても大切です。

①子どもたちの話を聴く。

- ・子どもの話を一生懸命聴きましょう。
- ・気持ちの言葉を繰り返し、その気持ちに共感しましょう。
- ・次の言葉を伝えましょう。

「私に話してくれてありがとう」

「あなたの言ったことを信じるよ」

「あなたが悪いんじゃないんだよ」



分析したり、メモをとったり、アドバイスしたり、憶測をさしはさんだりしないで、子どもの話を聴きます。

②ふたたび被害を受けないためには？

- ・子どもの力を信じ、暴力（いじめ、虐待）を止めるのは可能だと話します。
- ・子どもが自分の身を守るための行動の選択肢を一緒に考えます。
- ・ネットワークや関係機関を活用します。

■相談できるところ■

福島地方法務局	人権困りごと・いじめ相談	0242-27-1498
福島地方法務局	子どもの人権110番	0120-007-110
福島地方法務局	女性の人権ホットライン	0570-070-810
福島県女性のための相談支援センター		024-522-1010